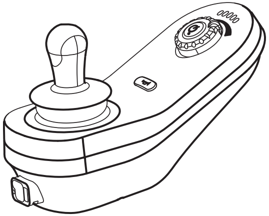
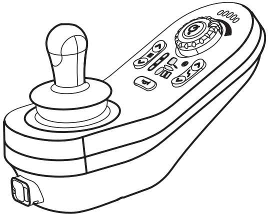
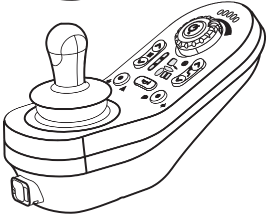






本マニュアルは、製品の使用者に必ず提供してください。
本製品を使用する前に、本マニュアルを必ず読み、
今後の参照用として保管してください。

Invacare® LiNX

DLX-REM110、DLX-REM211、DLX-REM216

ja リモート

取扱説明書

Yes, you can.®

目次

1概要 **3**
1.1本取扱説明書について 3
1.2本マニュアルで使用されている記号 3
1.3保証 4
1.4耐用年数 4
1.5責任制限 4
1.6安全性全般について 4

2部品 **6**
2.1ユーザーインターフェース DLX-REM110 6
2.2ユーザーインターフェース DLX-REM211 6
2.3ユーザーインターフェース DLX-REM216 7
2.4ユーザーインターフェースDLX-REM050(介助者用操作ユニットのみ) 7
2.5ステータスインジケーター 8
2.6バッテリーゲージ 8
2.7製品のラベル 9

3セットアップ **11**
3.1設定に関する一般情報 11
3.1.1条件付き制御入力 / 出力(制御IO) 11
3.2配線 11
3.3リモコンの接続 12

4使用法 **13**
4.1リモコンの操作方法 13
4.1.1ジョイスティックの使用 13
4.1.2最高速度の制御 14
4.2リモコンのロック / ロック解除 14
4.3電動シーティング機能の操作 15
4.3.110ウェイスイッチモジュール 16
4.3.2速度低減およびシーティング機能の制限 16
4.4ドライブ機能の起動 17
4.5音声キュー 17
4.6ライトシステムの運用 19
4.7緊急停止 19
4.8ホーン 20
4.9スリープモード 20
4.10Bluetoothの無効化 / 有効化 20
4.11バッテリーの充電 20
4.11.1バッテリーアラーム 21
4.12介助者用操作ユニット(DLX-REM050) 22

5トラブルシューティング **24**
5.1故障診断 24
5.1.1障害コードと診断コード 24
5.2OON(「ニュートラル解除」) 26
5.3駆動禁止表示 26
5.4カットオフ電圧 26

6技術データ **27**

© 2026 Invacare International GmbH

無断複写・転載を禁じます。Invacare の書面による許可を得る前に、全体もしくは一部を再配布、複製、修正することは禁じられています。商標は ™ および ® で示されています。すべての商標は、特に指定のない限り、Invacare International GmbHまたはその関連会社が所有するか、使用を許諾されたものです。

1概要

1.1本取扱説明書について

本書は製品取扱説明書の補足資料です。
本コンポーネント自体にはCEマーキングおよびUKCAマーキングは付されていませんが、医療機器規則2017/745(クラスI) およびパートII UK MDR 2002(改正) (医療機器に関するクラスI) に適合する製品の一部です。したがって、本コンポーネントは製品のCEマーキングおよびUKCAマーキングの対象となります。詳細については、製品の取扱説明書を参照してください。

Invacareはここに、無線機器型式DLX-REM110、DLX-REM211およびDLX-REM216が指令2014/53/EUに適合していることを宣言します。EU適合宣言の全文は、以下のインターネットアドレスで閲覧可能です：www.invacare.eu.com 。

本コンポーネントは、本取扱説明書を読み、内容を理解した場合にのみ使用してください。お客様の病状に詳しい医療従事者に追加の助言を求め、正しい使用方法や必要な調整に関する質問は、その医療従事者にご確認ください。

本書は、印刷時点で発売されているすべてのモデルに向けて作成されているため、お客様がご使用中のコンポーネントには該当しないセクションが含まれる場合があることにご留意ください。特に明記されている場合を除き、本書の各セクションはコンポーネントの全モデルを対象としています。
Invacareは、別途通知することなく、コンポーネントの仕様を変更する権利を保有します。

本書をお読みになる前に、最新版であることをご確認ください。最新版のPDF は、Invacare のウェブサイトから入手できます。
旧バージョンの製品については、本マニュアルの最新版に記載されていない場合があります。サポートが必要な場合は、Invacareまでご連絡ください。

印刷版のドキュメントの文字が小さくて読みにくい場合は、ウェブサイトからPDF 版をダウンロードすることをお勧めします。PDF は、画面上で拡大して文字を読みやすくすることができます。

コンポーネントに関する詳細情報(安全に関する通知やリコールなど) については、Invacareの担当者にお問い合わせください。住所は本書の最後に記載していますのでご確認ください。
コンポーネントに関して重大なインシデントが発生した場合は、製造者およびお住まいの国の所轄官庁に報告してください。

1.2本マニュアルで使用されている記号

本取扱説明書では、怪我や物的損害の原因となる危険な状況や使い方について警告表示ラベル/マークで示しています。この文書はグレースケールで印刷されています。参考までに、安全メッセージには、ANSI Z535.6に従って、危険 (赤)、警告 (オレンジ)、注意 (黄色)、および注記 (青) の色分けがあります。以下に示す警告文の定義をご確認ください。

⚠ **警告**
回避されなければ重傷または死亡を引き起こすおそれのある危険な状況を示しています。

⚠ **注意**
回避されなければ軽傷またはかすり傷を引き起こすおそれのある危険な状況を示しています。

! **警告!**
回避されなければ物的損害の原因となる場合がある危険な状態を示しています。

ヒントと推奨事項
役に立つヒントや推奨事項、および効果的で問題のない使用法に関する情報が記載されています。

その他の記号

UKRP **英国責任者**
商品が英国で製造されていないかどうかを示します。

1.3保証

保証の条件は、本製品が販売されている各国における一般取引条件の一部を構成します。

1.4耐用年数

本製品の使用寿命は、本文書に記載された意図された用途に厳密に従って使用され、すべてのメンテナンスおよびサービス要件が満たされている場合に約5年と推定します。製品を慎重に使い、適切にメンテナンスし、技術的・科学的進歩が技術的制約を生まなければ、推定使用寿命を超えることが可能です。また、極端な使用や誤った使用によっても寿命が大幅に短くなることがあります。この製品の使用寿命を見積もっていることは、追加の保証とはみなされません。

1.5責任制限

Invacareは、以下の各項に起因する損傷については責任を負いません。

- 取扱説明書の指示に従わない場合
- 誤った使用方法
- 自然磨耗
- 購入者または第三者による誤った組み立てや設置
- 技術的な変更を行った場合
- 無許可の改造、組み合わせ、または不適切な交換部品の使用

1.6安全性全般について

⚠ **警告**
負傷または電動車椅子への損傷の危険性
この機器の設置、メンテナンスまたは操作は、本製品および他の製品および使用・設置するすべての製品の説明書を読んだうえで理解しなければなりません。
– 取扱説明書の指示に従ってください。

⚠ **警告**
重傷、または電動車椅子もしくは周囲の財産に対する重大な損傷の危険性
設定を誤ると、電動車椅子が制御不能または不安定になることがあります。制御不能または不安定な車椅子は、事故などの危険な状況を引き起こすことがあります。
– 性能調整は、資格を有する技術者、またはプログラミングパラメータ、調整プロセス、電動車椅子の構成、および運転者の能力を完全に理解している者のみが行う必要があります。
– パフォーマンス調整は、乾燥した条件下でのみ行う必要があります。

警告
電気ショートによる負傷や損傷の危険性
電源モジュールに接続されているケーブルの接続ピンは、システムの電源がオフになっていてもまだ有効です。
— ピンが通っているケーブルは、人との接触や電気的短絡の原因となる物質にさらされないように、接続、抑制、または(非導電性材料で)覆う必要があります。
— 安全上の理由でバスケーブルをリモコンから取り外す場合など、ピンが通っているケーブルを取り外す必要がある場合は、必ずピンを引っ張るか、(非導電性の材料で)覆う必要があります。

警告
負傷または電動車椅子への損傷の危険性
個人の持ち物(例:アクセサリー、スカーフ)がジョイスティックに絡まると、電動車椅子やシーティングシステムが意図せず動く危険性があります。
— 電動車椅子の電源を入れる際には、緩んだ物がジョイスティックから離れているか必ず確認してください。
— すぐに電動車椅子の電源を切って、動きを止めましょう。

注意
意図しない動作による負傷の危険性
ジャイロモジュールを搭載した電動車椅子には、ジャイロ無効のドライブ機能を設定しておくことが推奨されます。電動車椅子を走行中の車両(例:船、バス、列車)内で使用する場合、ジャイロ機能が影響を受ける可能性があり、駆動指令により意図しない動作が生じることがあります。
— 走行中の車両内で使用する場合は、ジャイロ無効のドライブ機能を選択してください。
— 電動車椅子にジャイロ無効のドライブ機能がない場合は、Invacare販売店までお問い合わせください。

注意
高温の表面からの傷害の危険性
リモートモジュールは、長時間強い日光にさらされると熱くなることがあります。
— 電動車椅子は、長時間直射日光に当てないでください。

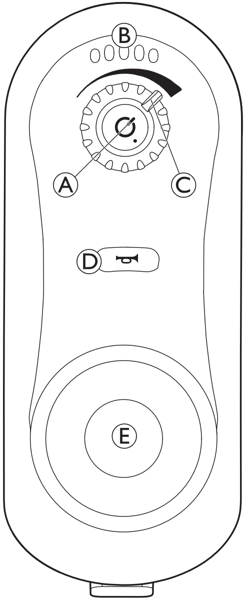
警告!
コネクターのピンに触れると汚れたり、静電気放電で損傷したりすることがあります。
— コネクターのピンには触れないでください。

警告!
ケースの中には使用者が修理可能な部品は一切ありません。
— ケースを開けたり分解したりしないでください。

2部品

2.1ユーザーインターフェース DLX-REM110

- ドライブ機能



Ⓐ 電源ボタン / ステータスインジケーター

Ⓑ バッテリーゲージ

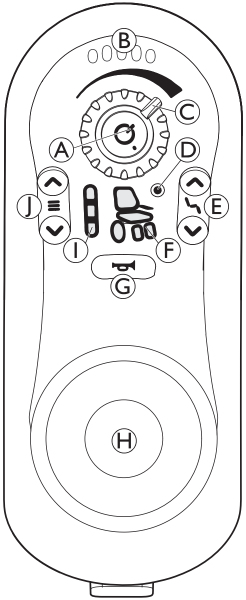
Ⓒ スピードダイヤル

Ⓓ ホーン

Ⓔ ジョイスティック

2.2ユーザーインターフェース DLX-REM211

- ドライブ機能
- 座席機能



Ⓐ 電源ボタン / ステータスインジケーター

Ⓑ バッテリーゲージ

Ⓒ スピードダイヤル

Ⓓ 接続性インジケーター

Ⓔ 座席機能セレクター

Ⓕ 駆動 / アクチュエーターの状態

Ⓖ ホーン

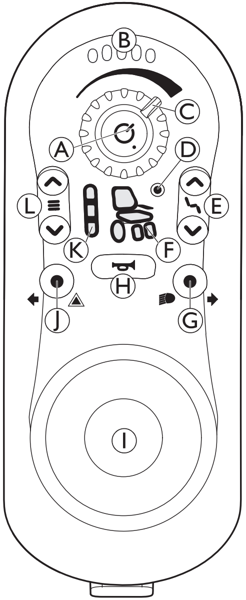
Ⓗ ジョイスティック

Ⓘ 駆動機能インジケーター

Ⓙ ドライブ機能セレクター

2.3ユーザーインターフェース DLX-REM216

- ドライブ機能
- 座席機能
- 照明システム



Ⓐ 電源ボタン / ステータスインジケーター

Ⓑ バッテリーゲージ

Ⓒ スピードダイヤル

Ⓓ 接続性インジケーター

Ⓔ 座席機能セレクター

Ⓕ 駆動 / アクチュエーターの状態

Ⓖ ライトと右方向指示器

Ⓗ ホーン

Ⓘ ジョイスティック

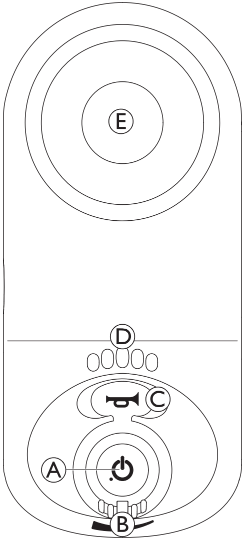
Ⓙ ハザードライトと左方向指示器

Ⓚ 駆動機能インジケーター

Ⓛ ドライブ機能セレクター

2.4ユーザーインターフェースDLX-REM050(介助者用操作ユニットのみ)

- ドライブ機能付き介助者用操作ユニット



Ⓐ 電源ボタン / ステータスインジケーター

Ⓑ スピードダイヤル

Ⓒ ホーン

Ⓓ バッテリーゲージ

Ⓔ ジョイスティック

2.5ステータスインジケーター

ステータスインジケーターは、電源ボタンの内側にあります。LiNXリモコンの電源が入っていないときは、ステータスインジケーターは点灯しません。
LiNXリモコンの電源が投入され、システムに異常がなければ、ステータスインジケーターが緑色に点灯します。
電源投入時にシステムに障害がある場合は、ステータスインジケーターが赤く点滅します。点滅回数は障害の種類を示します。*5.1.1 障害コードと診断コード*、*24*ページを参照してください。

2.6バッテリーゲージ

バッテリーの充電状態はバッテリーゲージに表示されます。

最大ドライビングレンジ
緑、緑、オレンジ、オレンジ、赤のLEDが点灯。

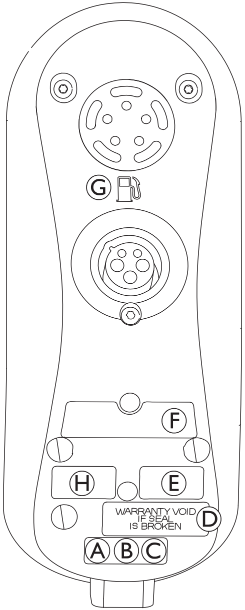
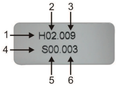
ドライビングレンジの
低下赤、オレンジ、緑のLEDが1つ点灯。

ドライビングレンジの
低下赤色とオレンジ色の2つのLEDが点灯。

ドライビングレンジの
低下赤色とオレンジ色のLEDが1つ点灯。
バッテリーの充電を検討してください。

非常に低いドライビングレンジ
赤色LEDのみ点灯。
バッテリーは直ちに充電が必要です。

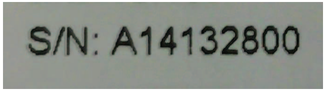
2.7製 品 のラベル

	Ⓐ		モジュールを使 用 する前 に取 扱 説 明 書 をお読 みになることをお勧 めします。
	Ⓑ	IPx4	これは筐 体 の防 塵・防 水 等 級 です。
	Ⓒ		これはWEEEマーク(廃 電 気 電 子 機 器 指 令) [1]です。
	Ⓓ	WARRANTY VOID IF SEAL IS BROKEN	改 ざん防 止 シール。
	Ⓔ		製 品 ラベルに含 まれる内 容 : • ダイナミック・コントロールズのロゴ • ダイナミック・コントロールズのウェブサイト • ダイナミック・コントロールズの部 品 説 明
	Ⓕ		製 品 ラベルに含 まれる内 容 : • バーコード • シリアル番 号 • 部 品 番 号
	Ⓖ		ガソリンポンプはバッテリー充 電 器 の入 力 を示 す。
	Ⓗ		1. ハードウェアバージョン 2. ハードウェアのメジャーバージョン 3. ハードウェアのマイナーバージョン 4. アプリケーションバージョン 5. アプリケーションのメジャーバージョン 6. アプリケーションのマイナーバージョン

1 この製 品 は環 境 意 識 の高 いメーカーから供 給 されています。本 製 品 に含 まれる物 質 は、法 律 に従 わない不 適 切 な場 所 への廃 棄 (埋 め立て) 時 に環 境 を損 なう可 能 性 があります。
- この製 品 には「取 り消 し線 の付 いたごみ箱 」マークが表 示 されており、可 能 な限 りリサイクルするよう促 すものです。
- 環 境 に配 慮 するため、本 製 品 が製 品 寿 命 を終 えた場 合 には、リサイクル施 設 を通 じてリサイクルしてください。

シリアル番号および製造日

ダイナミック・コントロールズ製品のシリアル番号には、製造日および各モジュールの固有番号の両方が含まれています。



上記の形式は**MYYnnnnnn**で、その内訳は以下のとおりです。

- **M**は製造月を表し、A ~ Lのアルファベットで示されます(A = 1月 、B = 2月 、C = 3月など) 。
- **YY**は製造年を表します。
- **nnnnnn**は、6桁の連番による固有番号です。

例えば、上記のとおり、リモコンのシリアル番号はA14で始まり、2014年1月の製造を示し、固有の連番は132800です。

3セットアップ

3.1設定に関する一般情報

この章で説明されている作業は、初期設定のために訓練を受けた認可されたサービス技術者が行うことを目的としています。使用者による実施は目的にされていません。

3.1.1条件付き制御入力 / 出力(制御IO)

LiNXアクセスツールを用いた車椅子の個別プログラミングは、有資格の技術者が行う必要があります。

LiNXシステムは現在、条件付き制御IOをサポートしており、現行の常時ルールベースモデルを拡張しています(単一の入力操作に対して単一の出力動作が常に実行される)。条件付き制御IOの導入により、有資格の技術者は以下のものを作成できるようになりました:

- 複数の常時ルール ― 単一の入力から1つ以上の出力が常に有効化されます。
- 条件付きルール ― 指定された条件がtrueの場合、単一の入力から1つ以上の出力が有効化されます。
- 条件付き / それ以外ルール ― 指定された条件がtrueの場合は単一の入力から出力が有効化され、そうでない場合(それ以外の場合)は同じ条件がfalseであるときに代替の出力が有効化されます。

条件付きIOには2つの利点があります。第一に、単一の入力が複数の出力を作動させることが可能になりました。第二に、制御入力はオーバーロードできるようになりました。オーバーロードとは、単一の入力が複数の用途を持ち、それぞれが指定された条件に依存することを指します。

これは、システムがある状態または機能にある場合には入力が1つの出力を有効化し、システムが別の状態または機能にある場合には同じ入力が別の出力を有効化できることを意味します。例えば、走行中に車椅子を停止させるために使用されるバディボタンは、シーティング機能時にはシーティング動作を延長させるためにも使用できます。

3.2配線

安全かつ確実な運転のため、ルームとケーブルの設置は電力配線の基本原則に従わなければなりません。

ケーブルは、コネクターと屈曲点の間で確実に固定されなければならず、屈曲力がコネクターに伝達されないようにしなければなりません。

> ⚠ **注意**
> **負傷またはリモコンへの損傷の危険性**
> ケーブルの損傷により、配線のインピーダンスが増大します。損傷したケーブルは局所的な発熱、火花、またはアーク放電を引き起こす可能性があり、周囲の可燃性物質への着火源となる恐れがあります。
> — 設置時には、バスケーブルを含む全ての電源ケーブルが損傷や可燃性物質との接触から保護されていることを確認しなければなりません。

> **!** **警告!**
> ケーブルやリモートモジュールは、正しく配置されていないと損傷する可能性があります。
> — ケーブルおよびリモートモジュールは、引っ掛かり、押し潰し、外部物体による衝撃、挟み込み、摩耗などの物理的負荷、乱暴な扱い、損傷を受けないよう配線・配置してください。

すべてのケーブルに対して適切な張力緩和措置を講じなければならず、ケーブルおよびルームの機械的限界を超えてはなりません。

コネクターおよびコネクターソケットが水しぶきや水の浸入から保護されていることを確認してください。メスコネクター付きのケーブルは、水平方向または下向きに配置してください。すべてのコネクターが完全に嵌合していることを確認してください。

注意
負傷またはリモコンへの損傷の危険性
電源モジュールに接続されているケーブルの接続ピンは、システムの電源がオフになっていてもまだ有効です。
– 通電中のピンを持つケーブルは、人体接触や電気的短絡を引き起こす可能性のある物質に晒されないよう、接続、拘束、または覆い隠してください。

ケーブルが車椅子からはみ出さないようにし、外部物体による引っ掛かりや損傷を防いでください。シートリフターなどの可動構造を備えた車椅子では特に注意してください。

警告
電気ショートによる負傷や損傷の危険性
使用者とケーブルの継続的な接触は、ケーブルジャケットのほつれを引き起こす可能性があります。これにより、電気的短絡の危険性が高まります。
– ケーブルがエンドユーザーと継続的に接触する経路を避けて配線してください。

バスケーブルを取り付ける際は、ケーブルおよび接続点に過度な張力をかけないようにしてください。ケーブルの屈曲は可能な限り最小限に抑えるべきであり、これにより耐用年数を延ばし、偶発的な損傷の危険性を最小限に抑えることができる。

警告!
定期的に曲げると、バスケーブルを損傷する可能性があります
– 定期的な繰り返し曲げが加わるバスケーブルの支持には、ケーブルチェーンの使用が推奨されます。チェーンの最大伸長は、バスケーブルの長さより短くする必要があります。ケーブルを曲げるために加える力は、10 Nを超えてはなりません。

適切な寿命試験を実施し、予想される耐用年数および点検・保守スケジュールを決定または確認してください。

3.3リモコンの接続

注意
意図しない停止の危険性
リモートケーブルのプラグが損傷していると、運転中にリモートケーブルが緩むことがあります。リモコンの電源が切れたり、突然電源が切れたり、意図せず停止したりすることがあります。
– リモコンのプラグに損傷がないか常に確認してください。損傷した場合は、すぐにプロバイダーに連絡してください。

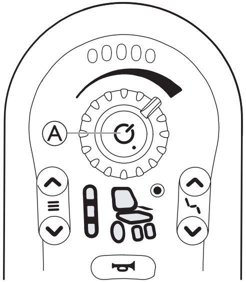
警告!
リモートプラグとコネクターソケットは、一方向にしかフィットしません。
– それらを無理に一緒にしないでください。

1. カチッという音がして、リモートケーブルのプラグと接続ソケットを軽く押して接続します。

4使用法

4.1リモコンの操作方法

車椅子は常にドライブ機能1で電源が入り、走行準備が整います。複数のドライブ機能を持つリモコン(DLX-REM211またはDLX-REM216)では、ドライブ機能を変更することができます。駆動機能の変更の詳細については、*4.4 ドライブ機能の起動*、*17*ページを参照してください。



リモコンの電源を入れる

1. 電源ボタンⒶを押してください。
   システムに故障がなければ、ステータスインジケーターは緑色に点灯し、バッテリーゲージは現在のバッテリー状態を表示します。*2.6 バッテリーゲージ*、*8*ページを参照してください。
   電源を入れる際にシステムに故障が発生した場合、ステータスインジケーターが一連の赤い点滅で故障を示します。参*5.1.1 障害コードと診断コード*、*24*ページを参照してください。もし故障によりシステムの走行を妨げられるようであれば、バッテリーゲージは連続的に点滅します。

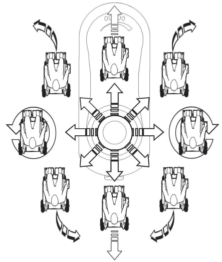
リモコンの電源オフ

1. 電源ボタンⒶを押してください。
2. システムの電源が切れ、ステータスインジケーターが消えます。

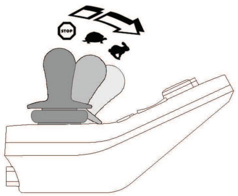
電源ボタンは緊急停止にも使用できます。*4.7 緊急停止*、*19*ページ、
を参照してください。電源ボタンはシステムのロックにも使われます。*4.2 リモコンのロック / ロック解除*、*14*ページを参照してください。

4.1.1ジョイスティックの使用

ジョイスティックは車椅子の方向と速度を制御します。



ジョイスティックが中央(ニュートラル) 位置から逸れると、車椅子はジョイスティックの動き方向に動きます。



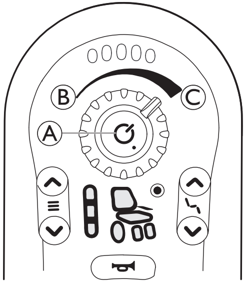
車椅子の速度はジョイスティックの偏向に比例するため、ジョイスティックがニュートラル位置から遠くに動くほど、車椅子は速く移動します。

使用者がジョイスティックをニュートラル位置に戻すと、車椅子は減速して停止します。
使用者がニュートラル以外の位置からジョイスティックを離すと、ジョイスティックはニュートラル位置に戻り、車椅子は減速して停止します。

ジョイスティックはスリープモード中にシステムを起動することも可能で、プロバイダーがこのパラメータを有効にしている場合は*4.9 スリープモード*、*20*ページを参照してください。

4.1.2最高速度の制御

速度ダイヤルを使用すると、使用者の好みや周囲の環境に応じて、電動車椅子の最高速度(ジョイスティックを最大まで倒したときの速度)を制限できます。

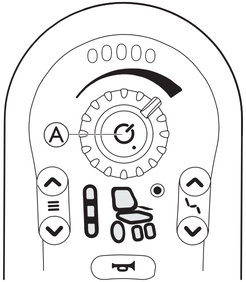


スピードダイヤルⒶでは、最低速度Ⓑと最高速度Ⓒの間に10段階の控えめなステップが提供されます。

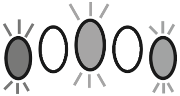
4.2リモコンのロック / ロック解除

デフォルトでは、ロック機能は無効になっています。設定を変更するには、プロバイダーに連絡してください。
機能が有効になっている場合、システムは以下に説明するシーケンスを使用してロック / ロック解除できます。

リモコンのロック

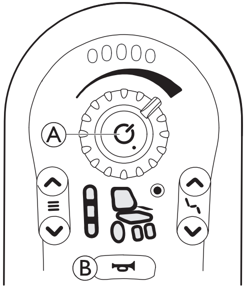


1. リモコンの電源が入っているときに、電源ボタンⒶを4秒以上押し続けてください。



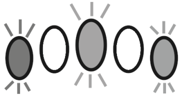
ロック状態に入ると、バッテリーゲージは赤、アンバー、緑(左端、中間、右端)のLEDを3回点滅させて遷移を示します。

リモコンのロック解除



1. 電源ボタンⒶを押してください。
2. ホーンⒷを10秒以内に2回押してください。

ロック解除シーケンスを誤って実行したり、ロック解除シーケンスが完了する前に電源ボタンを再度押すと、システムはロック状態に戻ります。

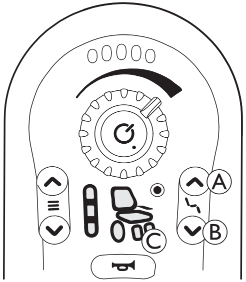


ロック解除を試みている間、バッテリーゲージはシステムがロック状態にあることを示すために、赤、アンバー、緑(左端、中間、右端)のLEDを点滅させます。システムが電源オフになるか、ロック解除されるか、シーケンスタイムアウトに達するまで続きます。

DLX-REM050を介助者用操作ユニットとして使用している場合は、DLX-REM050も同様にロックまたはロック解除されます。
DLX-REM050でもシステムのロック / ロック解除ができます。
DLX-REM050を使用してシステムのロックを解除すると、DLX-REM050が自動的に操作権を持ちます。
DLX-REM050の操作方法については、「*4.12 介助者用操作ユニット(DLX-REM050) 、22ページ*」を参照してください。
DLX-ACU200の操作方法については、DLX-ACU200の取扱説明書を参照してください。

4.3電動シーティング機能の操作

シーティング機能を有効にする



1. シーティング機能キーⒶを押してください。
   - 車椅子はシーティング機能に切り替わり、ドライブ / アクチュエーターステータス表示Ⓒがアンバーに点灯します。
2. シーティング機能選択キーⒶとⒷを押すか、ジョイスティックを左または右に数回動かして、希望のシーティング機能が点灯するまで、表シーティング*機能*を参照してください。
3. アクチュエーターを有効にするために、ジョイスティックを前方または後方に傾けます。

ジョイスティックを傾ける距離が動きのダイナミクスを決定します。
ジョイスティックを少しだけ傾けると、アクチュエーターはゆっくりとしか動きません。ジョイスティックをできるだけ傾けると、アクチュエーターはより速く動きます。

シーティング機能

すべての車椅子にすべてのオプションがあるわけではありません。

電動シートチルト

なし

電動リクライニング

未指定

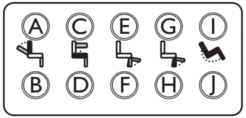
シートリフター

左側または中央の電動昇降式レッグレスト

右側の電動昇降式レッグレスト

両側の電動昇降式レッグレスト

4.3.110ウェイスイッチモジュール



1. 対応するボタンを長押しすると、そのシーティング機能が動作します。シーティング機能は、ボタンを押している間動作します。

下段のボタンを押すと、対応するシーティング機能がホームポジションに移動します。詳しくは、下表を参照してください。

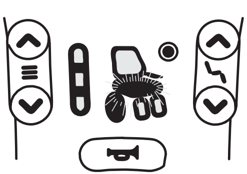
Ⓐ	リクライニング(倒す)	Ⓕ	左レッグレスト(下降)
Ⓑ	リクライニング(起こす)	Ⓖ	右レッグレスト(上昇)
Ⓒ	リフター(上昇)	Ⓗ	右レッグレスト(下降)
Ⓓ	リフター(下降)	Ⓘ	チルト(後方)
Ⓔ	左レッグレスト(上昇)	Ⓙ	チルト(前方)

4.3.2速度低減およびシーティング機能の制限

前述の速度低減およびシーティング機能の制限は、すべてのInvacare製車椅子モデルに適用されるわけではありません。

速度低減

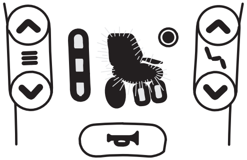
リフターが一定の位置以上に調整されている場合、駆動電子制御により車椅子の速度が大幅に低減されます。速度低減が作動している場合、ドライブモードは低速での走行のみに使用でき、通常走行には使用できません。通常走行を行うには、リフターを調整して速度低減が再び解除される位置にしてください。



速度低減はステータス表示に表示されます。リフターが一定の位置以上に上昇すると、リフターアイコンおよび駆動アイコンが点滅表示を開始します。これら2つのアイコンは、速度低減が解除されるまで、走行中は速度低減を示すために点滅表示を継続します。

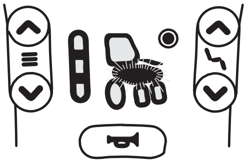
シーティング機能の制限

チルト制限



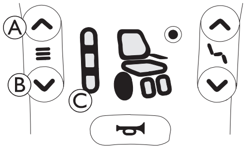
最大チルト制限スイッチは、リフターが一定の位置以上に上昇している場合に、バックレストの角度があらかじめ設定された最大角度を超えないようにする機能です。駆動電子制御は自動的に停止し、シートチルトまたはバックレストのアイコンが点滅を開始します。

リフターシートロックアウト



駆動電子制御には、シートチルトまたはバックレストの角度が一定以上に調整されている場合に、リフターが一定以上に上昇するのを防ぐためのリフターシートロックアウトスイッチが搭載されています。駆動電子制御は自動的に停止し、リフターのアイコンが点滅を開始します。

4.4ドライブ機能の起動



1. ドライブ機能キーを押すⒶ.
   リモートがドライブ機能に切り替わり、ドライブ機能インジケーター©により、事前に選択されたドライブ機能(1、2、または3) が表示され、ドライブ状況表示のホイールが緑色に点灯します。
2. ドライブ機能選択キーを押すか、ⒶまたはⒷ目的のドライブ機能が点灯するまで押してください。

- ドライブ機能インジケーター©ドライブ機能を示します。

ドライブ機能1	ドライブ機能2	ドライブ機能3

ドライブ機能選択キーを使用すると、Invacareによって設定された3種類のドライブ機能から選択できます。これらの機能は、プロバイダによってお客様のニーズや要望に合わせてカスタマイズできます。

4.5音声キュー

視覚的なシートとドライブ機能のキューの隣に、REM2XXリモコン用の音声キューを設定できます。音声キューは、特定のシステムイベントやナビゲーションアクションに応じてリモコンのスピーカーから再生される音です。音声キューの設定はLiNXアクセスツール(iOSまたはPC) を介してのみ行うことができ、資格を持つ技術者によって行う必要があります。

音声キューは、LINXシステム内での位置を理解するのに役立つように設計されており、特に以下の使用者に有益です:

- 視覚障害のある使用者や
- リモコンを見ることができない使用者や
- 自分の行動から追加のフィードバックを得たい使用者のため、リモコンを常に監視する必要がありません。

音声キューには2種類あります。

- イベントキュー: これはシステムイベントに応じて再生されるキューです。
- ナビゲーションキュー: これはメニューのナビゲーションアクションに応じて再生されるキューです。

イベントキュー

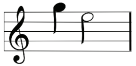
すべてのシステムイベントに音声キューがあるわけではありません。例えば、システムがスリープモードに移行する際には音声キューは再生されません。

イベントキューは2つまたは3つの音符で構成され、特定の状態に入ると再生されます。

音	イベントキュー条件
	電源オフ前に再生

ナビゲーションキュー

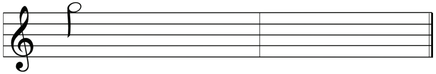
ナビゲーションキューは、機能を起動するときに再生されます。

音	ナビゲーションキュー条件
	ドライブ機能を起動するときに再生されます。
	シーティング機能を起動するときに再生されます。

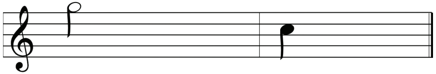
機能識別子

機能識別子は、ナビゲーションキューの直後に再生されるオプションの音声キューです。同じ音を繰り返すことでカウントを提供し、同じプロファイル内の同じタイプの機能を識別するのに便利です。
機能識別子は、プロバイダーによって設定できます。この音が繰り返される回数は、1から6まで設定できます。このパラメーターは、**なし**または**逆**に設定することもできます。**なし**に設定されている場合、ナビゲーションキューの後に機能識別子キューは再生されません。**逆**に設定されている場合、繰り返し機能識別子に使用される音よりも長い時間と高い周波数で単一の音が再生されます。

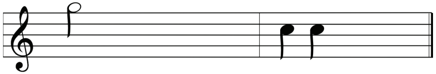
機能 =ドライブ 1　　識別子 = なし



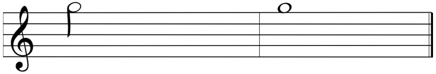
機能 =ドライブ 2　　識別子 = 1



機能 =ドライブ 3　　識別子 = 2



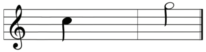
機能 =ドライブ 4　　識別子 = 逆



この例では、同じプロファイルの4つのドライブ機能が示されています。各ドライブ機能向けに、次の値が設定された関数識別子があります: **なし**, **1**, **2** および **逆**。

プロファイルインデックス

プロファイル間をナビゲートする際にプロファイルインデックスが再生され、最初のプロファイルには1つの音符、2番目のプロファイルには2つの音符が再生されます。



この例では、最初のプロファイルにドライブ機能が入力されています。

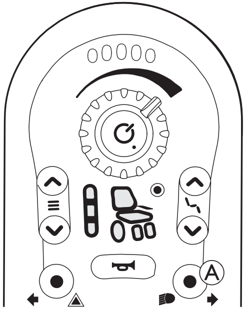
例

機能識別子が使用される場合、音の要素が3つ再生されます:
1. プロファイルインデックス(例:最初のプロファイルを示すための1つの音符)
2. ナビゲーションキュー(例:ドライブ機能)
3. 関数識別子(例:関数識別子が **2** に設定されています)

4.6ライトシステムの運用

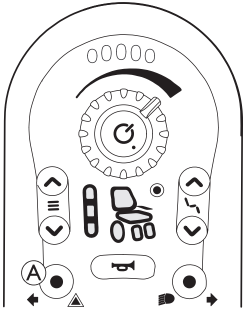
照明の操作

屋外で運転する場合は、視界が悪い場合や暗闇でライトを点灯する。



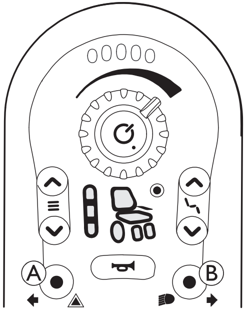
1. ライトボタンⒶを短く押します。
   照明の点灯・消灯が切り替わります。

ハザードライトの操作



1. ハザードを短押しするとボタンⒶが点灯します。
   ハザードランプの点灯・消灯。

方向指示器の操作方法



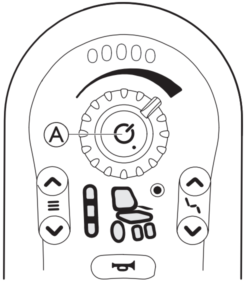
左方向指示器

1. ハザードライトボタンⒶを3秒以上長押しします。
   左方向指示器が点灯します。
2. 方向指示器を消灯するには、ハザードライトボタンをもう一度短押しします。

右方向指示器

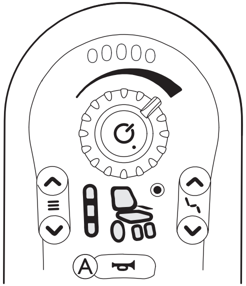
1. ライトボタンⒷを3秒以上長押しします。
   右方向指示器が点灯します。
2. 方向指示器を消灯するには、ライトボタンをもう一度短押しします。

4.7緊急停止



運転中に電源ボタンⒶを押すと、緊急停止が行われます。この後、リモコンは電源が切れます。

4.8ホーン



ホーンボタンⒶを押してホーンを鳴らします。ホーンボタンを押している間、ホーンが鳴ります。

ホーンボタンは、ロックされたシステムのロック解除にも使用できます。*4.2 リモコンのロック / ロック解除*、*14*ページを参照してください。

4.9スリープモード

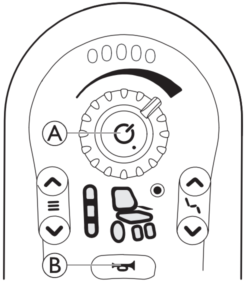
スリープモードは工場出荷時の設定ではありませんが、プロバイダーで有効にできます。このパラメーターをONに設定すると、使用者が操作しない状態が一定時間続くと、システムはスリープモードに入ります。この期間はプロバイダーが設定できます。

スリープモードへの移行は、リモートモジュールのLEDが徐々に暗くなることで示されます。移行中も、ジョイスティック、ホーン、スピードダイヤル、電源ボタンは引き続き機能します。

システムをスリープ状態から復帰させるには、電源ボタンを押すか、プロバイダがこのパラメーターを有効にしている場合はジョイスティックを動かします。

4.10Bluetoothの無効化 / 有効化

内蔵のBluetooth機能は、システムの起動時に無効または有効にできます。



Bluetoothの無効化

1. リモコンの電源を入れる際に、電源ボタンⒶを3秒以上長押しします。

Bluetoothの有効化 / ペアリング

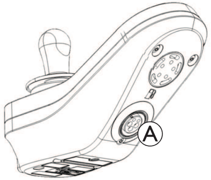
1. リモコンの電源を入れる際に、電源ボタンⒶとホーンボタンⒷを押します。

電源ボタンとホーンボタンを同時に押すと、Bluetoothが有効になり、新しいデバイスとのペアリングも開始されます。

4.11バッテリーの充電

警告
負傷、損傷または死亡の危険性
充電器のコードの配線が不適切な場合は、転倒、巻き込み、絞殺の危険があり、負傷、損傷、死亡の原因となります。
– すべての充電器コードが正しく配線され、固定されていることを確認してください。
– 子供、ペット、身体・精神に障害のある方の近くで充電する場合は、厳重な監督と注意が必要です。

24時間以内に車椅子を使用しない場合は、充電前に電源を再投入してください。これにより、強化されたバッテリーゲージは、車椅子の使用中に正確な読み取りができるよう、電荷を登録します。電源が入っていない場合、バッテリーゲージは充電状態を示しません。充電状態の詳細については、お使いの充電器のユーザーマニュアルを参照してください。



1. バッテリー充電器をリモコンの充電ソケットⒶに接続します。

リモコンに電源が入っている場合、バッテリーゲージは、左から右のチェイスシーケンスの間を循環し、チェイスシーケンスの終了時におおよそのバッテリー充電状態を表示することで、システムが充電器に接続されていることを示します。

バッテリーの充電状態1
赤色LEDが点灯。

バッテリーの充電状態2
赤色とオレンジ色のLEDが1つ点灯。

バッテリーの充電状態3
赤色とオレンジ色の2つのLEDが点灯。

バッテリーの充電状態4
赤、オレンジ、緑のLEDが1つ点灯。

完全充電
緑、緑、オレンジ、オレンジ、赤のLEDが点灯。

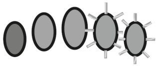
ドライブ禁止モードの詳細については、*5.3 駆動禁止表示*、*26*ページを参照してください。

バッテリー同期

新品のバッテリーのみ：リモコンに正確なバッテリー残量を表示するため、充電中は車椅子の電源をオンにしておいてください。新しいバッテリーはフル充電する必要があります。バッテリー同期の手順は、車椅子の電源をオンにしてから24時間以内に実施する必要があります。バッテリー同期の手順については、LiNXサービスマニュアルを参照してください。この手順は、販売店または資格を有する技術者が実施する必要があります。

4.11.1バッテリーアラーム

高電圧警告



バッテリーが過充電されています。
すべてのLEDが点灯し、緑色のLEDが点滅します。

1. バッテリー充電器を取り外します。

低電圧警告

バッテリーは空です。
赤いLEDが1つだけ点灯し、点滅しています。

1. パワーダウン車椅子。
2. すぐにバッテリーを充電してください。

4.12介助者用操作ユニット (DLX-REM050)

介助者用操作ユニットの電源ボタンには、介助者用操作ユニットを初めて使用する前にリモコンの取扱説明書を読むよう示したラベルが貼付されています。取扱説明書を読んだ後は、ラベルを取り外すことができます。

介助者用操作ユニットは、車椅子の制御システムの一部で、介助者がシステムを操作できるようにするためのものです。介助者用操作ユニットを使用すると、車椅子の制御システムで設定・接続された走行機能を介助者が操作できます。

介助者用操作ユニットを初めて使用する前に、操作方法を十分に理解しておいてください。Invacareは、けがを防ぐため、使用者が乗っていない状態で介助者用操作ユニットの動作を確認することを推奨しています。他の介助者に引き継ぐ場合も、その介助者に十分な操作説明を行ってください。

同じシステムに2つのリモコンモジュールが接続されている場合、どちらも同じ機能を実行できますが、一度にシステムを操作できるのはどちらか一方のみです。一方のリモコンがシステムを操作している間、もう一方のリモコンは電源ボタンを除き、どのコマンドにも反応しません。なお、電源ボタンは常にシステムの電源をオフにできます。

電源を入れる

どちらのリモコンからでも、電源ボタンを使用してシステムの電源を入れることができます。システムの電源を入れたリモコンが、システムを操作できます(操作権を持つリモコン) 。もう一方のリモコン(操作権を持たないリモコン) は、電源ボタンを除き、車椅子を操作できません。ただし、電源ボタンはシステムの電源を切るために引き続き使用できます。

システムの電源を入れると、自動的に走行機能1で起動します。介助者は、走行機能を変更できません。介助者用リモコンでは、速度ダイヤルを使用して最高速度を制御することだけができます。

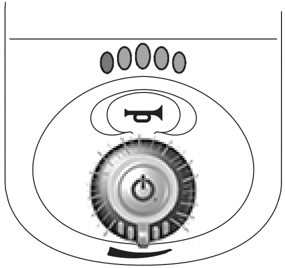
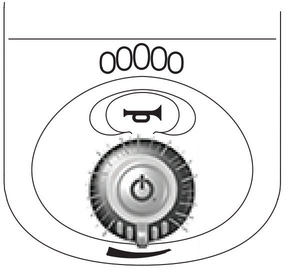
電源を切る

デュアルリモコンシステムでは、どちらのリモコンが操作権を持っている場合でも、いずれかのリモコンの電源ボタンを押すことで車椅子の電源を切ることができます。

操作権の切り替え

操作権を持つリモコンを切り替えるには、いずれかのリモコンでシステムの電源を切り、操作権を持たせたいリモコンで再度システムの電源を入れます。

リモコン操作権表示

リモコン操作権あり	リモコン操作権なし
バッテリー残量表示を含むすべてのインジケーターが通常どおり表示されます。	バッテリー残量表示は消灯し、その他のすべてのインジケーターは通常どおり動作します。
	

故障時の対処と表示

デュアルリモコンシステムでは、一方のリモコンで故障が発生すると、その故障は両方のリモコンに表示されます。

デュアルリモコンシステムでは、一方のリモコンに故障が発生した場合でも、もう一方のリモコンでシステムを操作できます。ただし、操作権を持つリモコンの電源ボタンに故障がある場合、システムは動作しません。

システムの電源が切れている間に一方のリモコンがシステムから取り外された場合、システムを再度起動すると、残っているリモコンに故障表示(*5.1.1 障害コードと診断コード*、*24*ページの「フラッシュコード2」を参照)が表示されます。これは、システムが2台のリモコンの接続を想定していたことを示しています。故障表示を解除するには、電源ボタンを使用してシステムの電源を一度切り、再度入れます。

5トラブルシューティング

5.1故障診断

電子システムに故障が表示された場合は、以下の故障発見ガイドを使用して故障を特定してください。

診断を開始する前に、ドライブ電子システムの電源が入っていることを確認してください。

ステータス表示がオフの場合：

- ドライブ電子システムの電源が入っているか確認してください。
- すべてのケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- バッテリーが放電していないことを確認してください。

ステータス表示に故障番号が表示された場合：

- 次のセクションに進んでください。

5.1.1障害コードと診断コード

電源投入時にシステムに障害がある場合は、ステータスインジケーターが赤く点滅します。点滅回数は障害の種類を示します。

次の表では、障害表示と、問題の修正に実行できるいくつかのアクションが示されます。記載されているアクションは特定の順序ではなく、あくまでも提案です。その意図は、提案の1つが問題をクリアするのに役立つかもしれないということです。疑わしい場合は、プロバイダーにお問い合わせください。

フラッシュコード	障害内容	可能なアクション	
1	遠隔障害	• ケーブルとコネクターを確認してください。 • 他のリモート(インストールされている場合)を確認します。	• プロバイダーにお問い合わせください。
2	ネットワークまたは構成の障害	• 電動車椅子を再起動します。 • ケーブルとコネクターを確認してください。 • バッテリーを充電します。	• 充電器を確認してください。 • プロバイダーにお問い合わせください。
3	モーター1[1]の障害	• ケーブルとコネクターを確認してください。	• プロバイダーにお問い合わせください。
4	モーター2[1]の障害	• ケーブルとコネクターを確認してください。	• プロバイダーにお問い合わせください。
5	モーター1[1]磁気ブレーキの障害	• ケーブルとコネクターを確認してください。 • 左磁気ブレーキがかみ合っているか確認してください。	• プロバイダーにお問い合わせください。
		• お使いの電動車椅子の取扱説明書内の「電動車椅子をフリーホイールモードで押す」の章を参照してください。	
6	モーター2[1]磁気ブレーキの障害	• ケーブルとコネクターを確認してください。 • 右磁気ブレーキがかみ合っているか確認してください。	• プロバイダーにお問い合わせください。
		• お使いの電動車椅子の取扱説明書内の「電動車椅子をフリーホイールモードで押す」の章を参照してください。	
7	モジュール障害(リモートモジュール以外)	• ケーブルとコネクターを確認してください。 • モジュールを確認します。	• バッテリーを充電します。 • プロバイダーにお問い合わせください。
		• 電動車椅子が立ち往生した場合は、後退するか障害物を取り除いてください。	

1 電動車椅子のモデルに応じたモーターの構成

5.2OON(「ニュートラル解除」)

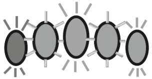
OON(「ニュートラル解除」) は、以下の場合に誤った走行や座席の動きを防ぐ安全機能です:

- システムが起動中の場合
- 機能変更後
- システムが抑制状態または駆動ロックアウト状態から解除された場合

ドライブOON警告

ジョイスティックは中央位置に設定してください:

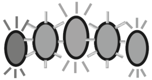
- システムが起動中の場合
- 機能変更時
- 駆動ロックアウトまたは抑制状態から遷移している場合



そうでない場合、ドライブのOON警告が表示されます。ドライブOON警告中は、バッテリーゲージのLEDと駆動輪インジケーター(装備されている場合)が点滅を継続し(全点灯→全消灯)、使用者に警告します。この状態では車椅子は走行しません。ジョイスティックが中央位置に戻されると、警告は解除され、車椅子は通常通り走行します。

シーティングOON警告

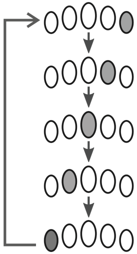
システムが起動中の場合、または機能変更後、直接アクセススイッチが有効であってはなりません。有効になっている場合、シーティングOON警告が表示されます。



シーティングOON警告中は、バッテリーゲージのLEDおよびシーティングインジケーターが継続的に点滅(全点灯の後に全消灯)し、使用者に警告を通知します。この状態では、シーティング動作は作動しません。スイッチを無効にすると警告は解除され、シーティング動作は正常に作動します。

5.3駆動禁止表示

駆動禁止モードでは、車椅子が充電器に接続されているときに駆動しないようにします。



駆動禁止モードは、バッテリゲージが右から左への追跡シーケンスで表示されます。
追跡シーケンスは、障害状態が解除されるまで続きます。

5.4カットオフ電圧

バッテリー電圧がバッテリーのカットオフ電圧を下回ると:

- ステータスインジケーターが赤く点滅します(フラッシュコード2、「*5.1.1 障害コードと診断コード*、*24 ページ*」を参照)。
- バッテリーゲージの赤色LEDが点滅します。
- ホーンが10秒ごとに1回鳴ります。

6技術データ

機械仕様	
許容動作・保管・湿度条件	
ISO 7176-9に基づく動作温度範囲：	• -25 °C ... +50 °C
推奨保管温度：	• 15 °C
ISO 7176-9に基づく保管温度範囲：	• -40 °C ... +65 °C
ISO 7176–9に基づく動作湿度範囲：	• 0% ~ 90% RH
保護等級：	• IPX4[1]

1 IPX4等級とは、電気系統が飛沫水から保護されていることを意味します。

操作力		
	DLX-REM050	**DLX-REM110/211/216**
ジョイスティック	• 1.9 N	
電源ボタン	• 2.5 N	
スピードダイヤル	• 1.2 N	
ホーンボタン	• 4.4 N	• 2.5 N

電気仕様				
パラメーター	**最小**	**名目**	**最大**	**単位**
動作電圧(Vbatt)	• 17	• 24	• 34	• V
待機電流	-	• 56	-	• 24V時のmA
待機電流(電源オフ時)	-	-	• 0.23	• 24V時のmA

EU Export:
Invacare Poirier SAS
Route de St Roch
F-37230 Fondettes
Phone: (33) (0) 2 47 62 69 80
serviceclient_export@invacare.com
www.invacare.eu.com

UKRP Invacare UK Operations Limited
Unit 4, Pencoed Technology Park, Pencoed
Bridgend CF35 5AQ
UK

1683961-J 2026年08月10日

Yes, you can.